

堀一郎 ほり いちろう 宗教民俗學者、文學博士。明治四十二年二月十九日（二重縣久居生れ、昭和四十九年八月十日歿（一九二〇—七五）。筆名浦里梧樓。第一高等學校を經て、昭和七年東京帝國大學文學部印度哲學科卒。日本佛敎史を專攻。文部省敎育研究所所員等を務め、この間十一年には柳田國男の娘三千と結婚、柳田の師事して民俗學を研究。戰後、三松學舎大學、國學院大學各敎授のうち東北大學敎授、更に東京大學敎授を兼任。四十五年成城大學敎授。宗教民俗學を提唱、シカゴ大學客員敎授を務めるとなご國際的にも知られ、M・エリアーデ等とこの親交。日本宗教學會會長、日本民俗學會代表理事等。

著書の『日本上代文化と佛敎』（再版・昭和十六年二月一日法藏館）、
上代『日本佛敎文化史』全二冊（上—佛法法要行等篇、昭和十六年七月十日、
 下—僧尼篇、八月二十日大東出版社）、『十三塚考』（柳田國男共著、
 昭和二十二年八月二十五日三省堂出版株式會社）、『民間信仰』（昭和二十六年十一月十五日、改版・五十二年九月二十一日岩波書店「岩波全書」）、『我が國民間信仰の史の研究』（昭和二十八年十一月十五日創元社。二十一年日本學士院賞受賞）等。

